

君あり、故に我あり

YOU ARE THEREFORE I AM — Toward a Life-Sustaining Socio-Economy

いのちを育む経済社会へ

今日、経済のグローバル化によるメリットを享受する人々が存在する反面、経済格差の拡大、環境破壊と資源枯渇、暴力の連鎖、核の脅威などさまざまな問題が深刻化している。

これらのテーマに関する研究と思索で世界的に影響を与えている思想家を英国から招聘し、真の豊かさと平和を誰もが享受できる経済社会とはどのようなものかについての方向性を探る。



日 時 / **2007年4月25日(水)**
18時30分～21時00分

会 場 / **同志社大学 寒梅館ハーディーホール**

(京都市営地下鉄「今出川」駅②番出口)

Doshisha University Imadegawa Campus, Kambaikan Bldg., Hardy Hall

英語の講演ですが、通訳が付きます。

Language: English with Japanese interpretation. Everyone welcome.

■主催:同志社大学経済学部

■共催:同志社大学経済学会

入場無料
事前申込
不要

講師

サティシュ・クマール氏
(Satish Kumar, 1936年-)

インド出身・英国在住の思想家・教育者。クマール氏は、『スモール・イズ・ビューティフル』(1973年)で有名なE.F.シューマッハーの仏教経済学、ガンジーの非暴力思想などを継承しつつ、ジャイナ教、仏教などの共生的な思想と生態学の知見を基礎に、現代社会の危機解決に向けて思索活動を展開中。「シューマッハー・カレッジ」創立者。雑誌『リサージェンス』編集長。



著書:『君あり、故に我あり:依存の宣言』▶
(尾関修・尾関沢人 訳、2005年講談社学術文庫)
他多数。



▼ 同志社大学 経済学部公開講演会

〈問い合わせ先〉同志社大学経済学部・経済学研究科研究室事務室 Tel 075-251-3534